

【記入例】

令和 8 年度

作業責任者資格・大型保守用機械指揮資格認定講習 受講申請書

希望する申請区分に「○」を記入して下さい。

(申請日 令和 8 年 1 1 月 2 0 日)

申請区分	新規・ 更新	作業責任者資格
	新規 ・更新	大型保守用機械指揮資格

写 真
横 24 mm 縦 30 mm
申請前 6 ヶ月以内に
上半身正面、脱帽・背
景無地で撮影したもの
を貼付けること。

申請者	(フリガナ)	コウツウ タロウ
	氏名	交通 太郎
	生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)

和暦で記入して下さい。

勤務先	名称(部課まで)	△△株式会社 ××部 □□課			
	所在地	〒 999 - 9999 京都市右京区〇〇町			
	連絡先	Tel: (000) 000 - 0000 Fax: (000) 000 - 0000			
	担当者 mail	aaaaaa@kyoto. city. lg. jp (担当者: 〇〇)			

申請日の年齢を記入して下さい。

当局資格	作業責任者資格	資格番号	第×××号	有効期限	令和 9 年 3 月 3 1 日
	指揮資格	資格番号		有効期限	令和 年 月 日
	運転資格	資格番号	第〇〇〇号	有効期限	令和△年 3 月 3 1 日

クレペリン検査

検査受検日	検査有効期限	検査受検会社名
令和〇年 〇月 〇日	令和△年 △月 △日	×××

※検査の有効期限(3 年以内)が、認定証の有効期限までに失効する場合は、再検査すること。

鉄道に関する技術上の基準を定める省令第 1 0 条について

鉄道に関する技術上の基準を定める省令第 1 0 条に基づき、精神機能(クレペリン)検査を行い、検査結果が D 段階又は F p でなく、知識及び技能を十分に発揮できる状態であることを確認しました。(△△株式会社)

※ () に社名を記載することで、上記の適正検査の受講状況について確認したものとします。

当局の大型保守用機械運転回数 大型保守用機械指揮資格「新規」申込みの方のみ記入

路線	従事期間(直近 3 年間)	件 名	運転回数
烏丸線	令和〇年〇月 ~ 令和△年△月	烏丸線線路保守業務委託	2 回以上
	令和 年 月 ~ 令和 年 月		回
	大型保守用機械運転習熟訓練 (1 回目: 令和 年 月、2 回目: 令和 年 月)		回
東西線	令和 年 月 ~ 令和 年 月		回
	令和 年 月 ~ 令和 年 月		回
	大型保守用機械運転習熟訓練 (1 回目: 令和〇年〇月、2 回目: 令和△年△月)		2 回

※ 運転回数が 2 回以上の場合は「2 回以上」と記入して下さい。

※ 大型保守用機械指揮「新規」申込者は、直近 3 年間に烏丸線及び東西線で各 2 回以上運転経験が必要。なお、運転回数には、運転資格新規取得時の実技講習、及び、運転習熟訓練を含む。

※ 「大型保守用機械運転習熟訓練」記載の方は、当局発行の「修了通知」を添付して下さい。

ご注意下さい。

【裏面に続く】

「営業線における検査業務又は軌道工事」に係る業務経歴

1 当局発注業務 **全員の方が記入**

業務名称 (従事期間)	従事年数	作業責任者	指揮者
烏丸線レール交換工事 (令和1年5月～令和1年12月)	年8ヶ月		
烏丸線線路保守検査業務委託 (令和2年4月～令和6年3月)	4年0ヶ月	○	
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月		
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月		
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月		
従事年数計(A)	4年8ヶ月	—	—

2 当局以外の鉄道事業者発注業務 **「新規」申込みの方のみ記入**

業務名称 (従事期間)	従事年数	発注機関
〇〇線立体交差化工事 (平成28年4月～平成30年3月)	2年0ヶ月	△△電鉄
××保守業務 (令和6年4月～令和7年3月)	1年0ヶ月	□□交通局
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月	
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月	
(年 月～ 年 月)	年 ヶ月	
従事年数計(B)	3年0ヶ月	—

- ※ 作業責任者の「新規」申込者は、「営業線の検査業務又は軌道工事に3年以上従事」していることが必要。
- ※ 大型保守用機械指揮の「新規」申込者は、「営業線の検査業務又は軌道工事に1年以上従事」していることが必要。
- ※ 申請時点で60歳を超える作業責任者又は大型保守用機械指揮の「更新」申込者は、「更新資格の有効期限内に作業責任者又は指揮者として当局の検査業務に1年以上従事(予定含む)」していることが必要。

ご注意下さい。